

## 2012Pーアセンション日記




私は数年前から目に見えない波動（エネルギー）を肉体で感じるようになり、人の想いや場所の気に敏感に反応して起き上がれなくなることも頻繁になりました。

「これは一体何を意味しているのだろうか!？」そう思ったことが、私のアセンションへの第一歩となりました。

私が描いていた当初の“アセンション”とは、高次元へと上昇するための自己の意識の改革でした。

自分に起こるすべては自分自身で引き起こしているのだから良い方へと変換して行くこと、そのために必要な高次の認識やスキルを学んで向上することで、結果的にアセンションが起こるのだと思っていました。

しかし、本当の高次の学びとは、己自身のためのものではなく、世の中のため——全体のために動いて初めて自分に還ってくる、そのことこそが魂の歓びであり、真の幸せであり、生まれてきた意味であるということ、そしてアセンションは全体のために行うライトワークそのものだということ、アセンション・アカデミーで学ぶようになって初めて理解致しました。



無理を感じている時は本物ではなく、ワクワクしている時、感動に魂を震わせる時こそが真の幸せであることを、同じ志を持つ仲間と、全体のために動いている時に初めて実感出来ました。

更に、真の感動は己の内側の中心が根源母神に繋がり、その愛と光によって満たされる時に起こることを、ライトワークの中で幾度となく体験するからこそ、「ライトワークがしたい！」と常に思うようになりました。


アカデミーで学びながら、仲間のライトワーカーの一人ひとりが個々の役割を担ってシフトしていく中で、「自分のライトワークとしての役割は何なのだろう？」と何度も自問自答をしました。

それぞれの役割は異なっていて比較できるものではない、ということは分かっているのですが、仲間が展開するライトワークを参考に自分の独自のライトワークを描こうとしても、「これだ！」と魂から叫びたくなるような展開を、私は自分自身に見出せないままでいました。

宇宙的転換期である 2012 年に入ると、この物理的次元に於いて、個人的に様々な出来事が起こりました。

親を含む大事な身内を二人亡くし、それに伴う数々の出来事と問題事、仕事の大々的な転換と個人的環境の変化が、怒涛の如く押し寄せてきました。





その中で行うライトワークは、出来る時にくらいつくだけのものですが、自分でも「よくすべてを並行して行えているな」と思う時がありました。

すべてを振り返って考えてみると、自分の意識がトップ&コアにあれば、不思議と、水が流れるように諸事のすべてがスムーズに展開していたのだ、と分かりました。


そしてそれらの経験の中に、実は、私個人のライトワークがあったのだと気づきました。

私は一年ほど前から、普通の生活の中で会う人々に、彼らに必要な中今の言葉を伝えることが自然と多くなっていきました。

冒頭にもあるように、私は人や場のエネルギーに敏感で、目の前にいる人が私に意識を向けている時は、自然にその人の意識やハイアーセルフの言葉が流れ込んでき易くなるのですが、そういう時にこそ、ライトワークを意識して言葉を伝えるようになっていました。

相手に、伝えたい言葉と共に根源母神の愛と光のエネルギーが伝わるように、相手の幸せを願いながら、相手のハートを包み込むことだけを意識しました。

すると、思考の渦に沈み闇の中にいた者が、私の伝えた言葉によって明らかに変わり、前を見て、目を輝かせ始めるのを目の当たりにするようになりました。



その時の私は限りなく幸せであり、この歓喜はライトワークを行うことで永遠・無限に味わうことが可能であることを実感しました。

私の課題は、敏感すぎるエネルギーに対する物理次元と魂次元との統合にあると言われていたのですが、その意味がこれらの体験を通して漸く理解できました。

真の幸せは誰かの幸せをサポート出来た時にあり、そしてそのことが宇宙全体へと拡がって行くことで、アセンションを促します。

すべては繋がっていて、アセンション・ライトワークを通して、魂の絆で繋がる仲間と共に創造する一瞬一瞬が、今、私の宝物となっています。



No.1 耀子

∞愛と光と絆と感謝とともに